



看護師

感染対策!みんなで行うことに意味がある!!

感染管理認定看護師 福原 順子

みなさんは、「病気を治しに病院に行ったのに、カゼをもらって帰ってきちゃった」なんて経験ありませんか?確かに病院は病気を治すところです。しかし、“病気の人が集まる=菌やウイルスも集まる場所”でもあります。だからこそ、病院では、患者さんはもちろんご家族・職員などすべての人々が感染を「しない、させない、広げない」ための対策に取り組まなければなりません。でも感染対策といわれてもピンとこないですよ?そこで病院をぐるっと見渡してみましょう。玄関や病棟受付に設置してある手指の消毒剤、医師や看護師が付けているマスク、採血や点滴をする時にはめている手袋、当たり前の光景ですが、これらが感染対策なのです。また冬には、みなさんご存知のインフルエンザやノロウイルスが流行します。そんな時、手洗い・うがいの励行や咳・くしゃみがでる方へマスク着用のポスターなど目にすることはありませんか?それらも感染対策のひとつなのです。

病院では、職員から患者さんやご家族に感染しないよう職員教育をしています。しかし、みなさんが感染しないためには、みなさん自身が感染対策に取り組むことも必要なのです。

いつも目にする手洗い・うがい・マスク着用のポスター。これらは職員だけが守っても、感染を防げません。みなさんと共に

行ってこそ、感染を「しない・させない・広げない」が実現されるのです。私たちと共に感染対策にぜひ取り組みましょう!

来院される方へ
～感染対策ワンポイントアドバイス～

1. 手洗いより便利な消毒剤!

病院に出入りする時には、玄関のすり込み式消毒剤を使いましょう。石けん手洗いよりも簡単で、すぐれた効果を発揮します。



2. マスクは口・鼻・あごまで覆いましょう!



3. 帰宅後は、手洗いとうがいをしましょう。

うがいは順番も大切です!



①初めは口の中をグチュグチュペッ

②次にのどの奥をガラガラペッ